

高美小プランシート

場所：国際教室Ⅰ

1. 「はてなをもとめて、自ら学びに向かう力の育成」に関わって

- ・日本とベトナムの学校生活を比較する場を設定し、児童が気付いた違いを「どうして」「なぜ」などの疑問につなげ、自分の「はてな」を日本語で表現できるよう支援する。(問いを生む2)
- ・写真や資料、友達との交流などの情報源を用意し、児童が必要な情報を見つけたり、学習した日本語を使って考えや疑問を伝えたりできるよう支援する。(実行する2)
- ・「分かったこと」「使えるようになった日本語」「もっと知りたいこと」などの視点を示し、児童が自分の学びを具体的に振り返るとともに、新たな「はてな」を次の学習につなげられるようにする。(振り返り2)

2. 単元名

高美小学校にあることばの「はてな」をみつけよう～くらべて・かんがえて・つたえよう～(日本語指導)

3. 単元の目標

- ・学校生活で使う語彙や「どうして」「なぜ」「～からです。」など理由を表す表現を知り、場面に応じて使うことができる。
- ・「どうして」「なぜ」を使って、日本の学校生活におけることばについて疑問をもち、調べたことや自分の考えを相手に伝えることができる。
- ・日本とベトナムの学校生活を比べながら、ことばについて自分の「はてな」をもち、友だちとの交流やふりかえりを通して学びを深めようとしている。

4. 単元の評価規準

- ・学校生活で使う語彙や「どうして～ですか。」「～からです。」などの表現を理解し、場面に応じて使っている。【知識・理解】
- ・日本の学校生活におけることばについて「どうして」「なぜ」を使って疑問をもち、資料や友だちとの交流をもとに、自分の考えや分かったことを日本語で伝えている。【思考・判断・表現】
- ・日本とベトナムの学校生活を比べながら、ことばについて自分の「はてな」をもち、交流や振り返りを通して学びを深め、次の学習につなげようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

5. 単元計画 (全 2 時間)

第1次	第1時 (本時)	高美小学校にあることばの「はてな」をみつけよう
	第2時	「はてな」を考え、つたえよう

6. 本時の目標

日本とベトナムの学校生活を比べながら、ことばについて自分の「はてな」を日本語で表現することができる。

【思考・判断・表現】

7. 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
15分	1. 日本の学校生活の写真を見て、様子や時間帯などを知る	・「登校する」「授業をする」「給食を食べる」「掃除をする」など、本単元で必要となる学校生活に関する語彙を写真と結び付けて確認する。	
25分	高美小学校にあることばの「はてな」をみつけよう。 2. ベトナムの学校生活を思い出し、日本の学校生活と比べ、ちがいを考える 3. 「どうして～ですか。」「なぜ～ですか。」の文型を知り、みつけた「はてな」を文章化する	・違いを見つけることだけを目的とせず、「どうして違うのだろう」「どうして日本語では～というのだろう」という疑問につなげることを意識する。 ・児童から出た「どうして?」「なぜ?」という疑問を取り上げ、「どうして～ですか。」「なぜ～ですか。」という文型に置き換えることで、学習した日本語と自分の疑問を結び付ける。	日本とベトナムの学校生活を比べながら、ことばについて自分の「はてな」を日本語で表現している。 【思考・判断・表現】 (発言)
5分	4. ふりかえり	・「どうして～ですか。」「なぜ～ですか。」など、本時で学習した日本語を実際に使って振り返るよう促す。	

8. 本時の評価基準(ルーブリック)

十分満足できる(A)	おおむね満足できる(B)	努力を要する状況への支援
「どうして」「なぜ」を使って日本の学校生活におけることばについての疑問を表現し、理由についても考えている。	「どうして」「なぜ」を使って日本の学校生活におけることばについての疑問を表現している。	児童の発話を受け止め、問い返しや言葉の補足を行いながら、児童自身が伝えたい内容を日本語で表現できるよう支援する。